

浜遊(はまゆう) タイムス

発行責任者
天草ビーチコーミング研究会
漂着物学会 会員
天草市魚貴町4688-1
武田昌代

お待たせいたしました～！！ついに Vo.2！お祝いの原稿頂きましたのでご紹介いたします。



筆者紹介：はやししげお

幼少時より海や自然と親しみ、拾い物に目ざめる。1990 年より福井県恐竜発掘調査に参加、その後富山県でも恐竜発掘調査に参加、現在に至る。

漂着物学会運営委員、ウキウキ研究会主催、2000 年より精力的に日本海側と太平洋側で漂着物調査を行う。

●主な著書：恐竜なるほどなんでもクイズ(小学館)、漂着物考(INAX 出版・共著)、地質学会・漂着物学会論文多数

●ウェブページ：<http://beachcomb.exblog.jp/>

ビーチコーミングのすすめ

漂着物学会・ウキウキ研究会 はやししげお

天草ビーチコーミング研究会の発足、会報・浜遊の発行おめでとうございます。

Beachcombing・ビーチコーミングとは英語で、海岸(ビーチ)を櫛けずる(コーミング)ように、ていねいに探すことからできた言葉です。日本では、浜歩きとか、磯乞食とも呼ばれてきました。

四面環海の日本は南や北からやってくる海流に囲まれ、古くから人々は浜辺に打ち寄せられるさまざまなモノを拾い上げてきました。新鮮な魚や貝、それに海藻であれば食料となったことでしょうし、流木は燃料になりました。大量に打ち上げられる春先の海藻は田畑の肥料になりました。

私のフィールドの一つである福井県の若狭地方には鳥浜貝塚という縄文時代の遺跡があります。この貝塚からは全長 6m にも及ぶ丸木舟などが出土しており、そうした遺物に混じってココヤシの内果皮を用いた容器も見つかっています。縄文人は浜辺に打ち上げられたココヤシを拾い上げ、ぼさぼさの繊維質が出ていた外果皮を剥き、硬い内果皮を加工して器にしたのでしょう。またココヤシは漂着物を代表するものでもあり、民俗学者の柳田國男は、若い頃訪れた愛知県渥美半島先端にある伊良湖岬で見つけたココヤシにインスパイアされ、後に名著「海上の道」を著しています。「椰子の実」の作詞家である島崎藤村は、柳田國男から聞いたココヤシの話をもとに詩を作ったのは、よく知られた話ですね。

このように私たち日本人は古くから漂着物との関わりをもっていたビーチコーマーの血が脈々と流れ続けているのかもしれませんが。ただ現在では、残念なことに海から離れた生活を送る方も多く、1 年のうちで一度も海に行かない家庭も少なくないそうです。現代人と海との関わりは、海に関わる生業をもたれた方々を除けば限られてくるようです。身近なものでは海水浴、潮干狩り、釣り、サーフィン、ダイビング、プレジャーボートなどがありますが、どれも行える期間が限定されていたり、用具に費用がかかったり、ある一定のスキルを積まないと難しいものもあります。そんな中でビーチコーミングは、誰でも、いつでも、気軽に楽しめる海との関わり方です。

漂着物を拾ったり、観察するビーチコーミングは四季折々の海の様子を教えてくれるだけではなく、遠い海外から流れてきた漂着物を通して、遠い国に思いをはせる機会にもなります。漂着物の多くは人間生活の中から出たゴミであることから、私たちの生活を見直すことにもつながり、さまざまな切り口があり、興味は尽きません。そんな森羅万象に興味がある方には、漂着物学会初代会長の石井忠先生が著した「新編・漂着物事典」を一読されることをオススメします。石井先生は漂着物の打ち上げられる浜辺を、「渚の百貨店」と例えられています。(裏へつづく)

私は本州中部に住んでいて、太平洋側の愛知県にある渥美半島と、日本海側の福井県の浜を「マイ・フィールド」として、漂着物の調査・研究をしています。そんな立場から見ると、天草の地は東シナ海に面する、はるか西の地です。そして福井沿岸にも寄る対馬暖流の源流域にはより近く、漂流物を運ぶ海流を川の流れに例えれば、上流になります。

海の身近な天草のみなさんがビーチコーミングをされるのなら、ぜひ自分の通いなれた「マイ・フィールド」を持たれると良いでしょう。年に数回でも、月に一度でも、四季を通して同じ浜に通ってビーチコーミングを続けられると、漂着物の変化をはじめ、砂の移動による海岸線の変化、それに海浜植物の彩りなど四季の変化も見つかります。また、同じ浜を歩き続けることによって、貝殻や軽いプラスチック系の漂着物が打ち上げられる場所が違うことも体感できるでしょう。

ぜひ、「マイ・フィールド」から、天草の海の豊かさ、そして海を取りまく地球環境にまで目を向けてもらえたらうれしいです。一人でも多くの方に楽しんで欲しい浜辺、ぜひ次のビーチコーミングにはお友達を誘ってみてはいかがでしょうか？



実はワタクシ...
はやし先生の本を直筆サインとイラスト入りで持っているのです... (自慢)

天草同様に対馬暖流の洗う福井の漂着物・ココヤシなどの自然物から、ライター、プラスチックウキ、ガラスの浮き玉まで、さまざまなモノが流れ着く、まさに渚の百貨店。

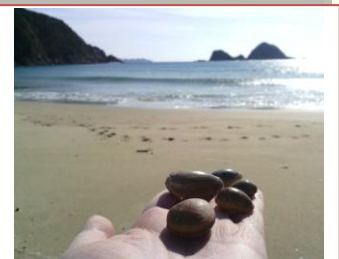
はやしげお先生ありがとうございます。漂着物学会南房総大会ではお世話になりました。次は石垣大会ですね。太平洋と日本海の行ったり来たり、風那など召されませんように！しかしこの季節ワクワドキドキやめられませんよね。(笑)私もがんばります！



中学生の手って
可愛いですよ。



どこまでも続く
足跡♪



今年初めての出会い
「どら焼きマメ」

このフリーペーパーは不定期になが〜く続けていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。！！興味のある方いつしよに活動しませんか？

by Takeda

会員募集中！

お問い合わせ・お申し込み 090-8767-9722

年会費 1000円

天草ビーチコーミング研究会 浜遊 担当/武田